

1. 平成22年度第1四半期決算の概要

○ 連結決算

1. 連結経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	132,047	(1.6)	9,919	(△ 4.5)	6,979	(0.2)
22年3月期第1四半期	129,906	(△ 4.6)	10,384	(-)	6,965	(-)

	四半期純利益		1株当たり四半期純利益	
	百万円	%	円 銭	
23年3月期第1四半期	261	(△ 91.3)	1.25	
22年3月期第1四半期	2,986	(-)	14.18	

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

2. 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	1,605,076	403,406	24.5	1,912.50
22年3月期	1,607,027	418,943	25.4	1,939.92

○ 単独決算

1. 経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	128,520	(2.2)	9,662	(△ 4.4)	6,697	(△ 0.5)
22年3月期第1四半期	125,767	(△ 4.8)	10,111	(-)	6,730	(-)

	四半期純利益		1株当たり四半期純利益	
	百万円	%	円 銭	
23年3月期第1四半期	47	(△ 98.4)	0.23	
22年3月期第1四半期	2,863	(-)	13.59	

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

2. 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	1,544,097	361,579	23.4	1,758.61
22年3月期	1,536,430	377,152	24.5	1,790.79

2. 連結決算の概要

当第1四半期連結累計期間の収支につきましては、収入面では、販売電力量の増加などにより、営業収益（売上高）は、前年同期に比べ21億円（1.6%）増加の1,320億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、25億円（2.0%）増加の1,332億円となりました。

支出面では、泊発電所3号機の本格稼働による燃料費の減少に加え、経営全般にわたる効率化に努めましたが、発電設備に係る定期検査費用や公租公課の増加などにより費用が増加したことから、営業費用は、前年同期に比べ26億円（2.2%）増加の1,221億円となり、これに営業外費用を加えた経常費用は、25億円（2.1%）増加の1,262億円となりました。

以上により、営業利益は、前年同期に比べ4億円（△4.5%）減少の99億円、経常利益は、前年同期並みの69億円となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う過年度分の影響額を特別損失として計上した後の四半期純利益は、27億円（△91.3%）減少の2億円となりました。

連結収支比較表

（単位：百万円）

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
経常収益	営業収益（売上高）	132,047	129,906	2,141	101.6	549,305
	電気事業営業収益	128,061	125,301	2,760	102.2	525,587
	その他事業営業収益	3,985	4,605	△ 619	86.5	23,718
	営業外収益	1,205	795	410	151.6	2,971
	合 計	133,253	130,702	2,551	102.0	552,277
経常費用	営業費用	122,128	119,521	2,606	102.2	517,611
	電気事業営業費用	118,627	115,460	3,167	102.7	496,486
	その他事業営業費用	3,501	4,061	△ 560	86.2	21,124
	営業外費用	4,146	4,215	△ 69	98.4	16,877
	合 計	126,274	123,737	2,537	102.1	534,489
[営業利益]		[9,919]	[10,384]	[△ 465]	[95.5]	[31,694]
経常利益		6,979	6,965	13	100.2	17,788
渇水準備金引当又は取崩し		1,691	1,285	406	131.6	3,612
特別損失		4,923	—	4,923	—	—
税金等調整前四半期（当期）純利益		364	5,679	△ 5,315	6.4	14,176
法人税等		184	2,702	△ 2,518	6.8	5,941
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益		179	—	—	—	—
少数株主損益		△ 81	△ 8	△ 72	1,012.5	575
四半期（当期）純利益		261	2,986	△ 2,724	8.7	7,658

（注1） 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）の適用に伴い、当第1四半期から、「少数株主損益調整前四半期（当期）純利益」を表示しております。

（注2） 少数株主損益欄の△は、損失を示しております。

連結対象会社

連結子会社	持分法適用会社
北海道電気工事(株) 北電興業(株) 北海道パワーエナジーリング(株) 苫東コージェネ(株) ほくでんエネジー(株) 北海道総合通信網(株)	北海道計器工業(株)、北電総合設計(株)、 ほくでんサービス(株)、ほくでん情報テクノロジー(株)、 (株)エナジーフロンティア、(株)ほくでんスポーツフィールド、 北海道フードフロンティア(株)、(株)ほくでんアソシエ

3. 単独決算の概要

1. 需 要

- ・ 電灯および電力は、オール電化住宅の普及に加え、春先の気温が前年に比べ低く推移したことによる暖房需要の増加などにより、6.0%の増加となりました。
- ・ 特定規模需要は、鉄鋼業などにおける前年の生産調整による大幅な落ち込みの反動増などにより、3.9%の増加となりました。
- ・ この結果、販売電力量合計では、4.8%の増加となりました。

販売電力量

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 累計期間 (A)	前第1四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
特定規 模需要 以外	電 灯	2,884	2,754	130	104.7	11,875
	電 力	514	451	63	114.0	2,368
	電 灯 電 力 計	3,398	3,205	193	106.0	14,243
特 定 規 模 需 要		4,297	4,135	162	103.9	17,208
合 計		7,695	7,340	355	104.8	31,451

2. 供 給

- ・ 当第1四半期累計期間の出水率は110.9%と平年を上回り、また、原子力発電所の高稼働に努めるなど供給設備の適切な運用をはかったことから、安定した供給を維持することができました。

供給電力量

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 累計期間 (A)	前第1四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
自 社	(出 水 率 %)	(110.9)	(107.2)	(3.7)		(108.0)
	水 力	1,427	1,337	90	106.7	3,757
	火 力	2,359	3,254	△ 895	72.5	14,986
	(設 備 利 用 率 %)	(83.1)	(72.1)	(11.0)		(81.9)
	原 子 力	3,755	2,405	1,350	156.1	12,381
	新エネルギー等	31	26	5	118.4	115
計		7,572	7,022	550	107.8	31,239
他 社 受 電		793	971	△ 178	81.6	4,461
融 通		△ 26	△ 7	△ 19	344.1	△ 108
揚 水 用		△ 40	△ 14	△ 26	284.0	△ 144
合 計		8,299	7,972	327	104.1	35,448

(注1) 原子力設備利用率は、試運転分を除いております。

(注2) 従来火力に含めて表示していた地熱発電については、電気事業会計規則の改正に合わせて、前年度末より新エネルギー等として表示することに変更しております。

なお、前年同期実績は当第1四半期の区分に合わせて表示しております。

3. 収 支

(1) 収 益

- ・ 電灯・電力収入は、販売電力量の増加などにより、16億円（1.4%）の増加となり、これにその他収益を加えた経常収益合計では、30億円（2.4%）増加し、1,295億円となりました。

(2) 費 用

- ・ 人件費は、退職給付会計に係る費用の減少などにより、3億円（△2.7%）の減少となりました。
- ・ 燃料費・購入電力料は、販売電力量の増加はありましたが、原子力発電量の増加などにより、36億円（△13.7%）の減少となりました。
- ・ 修繕費は、発電設備に係る定期検査費用の増加などにより、30億円（26.8%）の増加となりました。
- ・ 減価償却費は、定率償却による逡減効果などにより、17億円（△6.6%）の減少となりました。
- ・ 支払利息は、ほぼ前年同期並みとなりました。
- ・ その他費用は、経営全般にわたる効率化に努めましたが、公租公課や原子力バックエンド費用の増加などにより、59億円（15.8%）の増加となりました。
- ・ この結果、経常費用合計では、31億円（2.6%）増加し、1,228億円となりました。

(3) 利 益

- ・ 以上により、経常利益は、前年同期並みの66億円となりました。
また、資産除去債務会計基準の適用に伴う過年度分の影響額を特別損失として計上した後の四半期純利益は、28億円（△98.4%）減少の47百万円となりました。

収支比較表

(単位：百万円)

		当第1四半期 累計期間 (A)	前第1四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
経 常 収 益	電 灯 料	59,228	58,560	668	101.1	247,619
	電 力 料	66,597	65,575	1,021	101.6	270,862
	(小計)	(125,825)	(124,135)	(1,689)	(101.4)	(518,481)
	その他の収益	3,722	2,323	1,398	160.2	10,826
	[売上高] 合計	[128,520] 129,547	[125,767] 126,459	[2,752] 3,088	[102.2] 102.4	[526,894] 529,308
経 常 費 用	人 件 費	13,560	13,941	△ 380	97.3	56,471
	燃料費・購入電力料	23,042	26,713	△ 3,670	86.3	124,080
	修繕費	14,533	11,463	3,069	126.8	80,817
	減価償却費	24,518	26,243	△ 1,725	93.4	108,796
	支払利息	3,704	3,796	△ 91	97.6	15,092
	その他費用	43,490	37,570	5,920	115.8	130,847
	合計	122,850	119,729	3,121	102.6	516,105
	[営業利益]	[9,662]	[10,111]	[△ 449]	[95.6]	[26,824]
	経常利益	6,697	6,730	△ 33	99.5	13,203
	渴水準備金引当又は取崩し	1,691	1,285	406	131.6	3,612
	特別損失	4,923	—	4,923	—	—
	税引前四半期(当期)純利益	82	5,445	△ 5,362	1.5	9,591
	法人税等	35	2,582	△ 2,547	1.4	4,211
	四半期(当期)純利益	47	2,863	△ 2,815	1.6	5,379

4. 業績の見通し

当期の業績は、順調に推移しており、連結、単独ともに平成22年4月28日に公表した業績予想に修正はありません。

○ 連結業績見通し

23年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期	第2四半期連結累計期間	
		対前期増減		対前年同四半期増減
売上高	557,000	8,000	260,000	3,000
営業利益	39,000	7,000	17,000	同程度
経常利益	25,000	7,000	10,000	同程度
当期純利益	11,000	4,000	3,000	同程度
(対前期増減率)		(1.6%程度)		(2.3%程度)
販売電力量	320億kWh程度	5億kWh程度	150億kWh程度	4億kWh程度

○ 単独業績見通し

23年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期	第2四半期累計期間	
		対前期増減		対前年同四半期増減
売上高	535,000	8,000	251,000	3,000
営業利益	34,000	7,000	16,000	同程度
経常利益	20,000	7,000	9,000	同程度
当期純利益	9,000	4,000	3,000	同程度